

令和2年度事業計画

【経営方針】4月より名東区に移転する相談支援事業所のスペースを有効活用すべく新しい事業の展望を模索していく。また、本部事業に事務職員が増えたことに伴う事務の効率を図る。第3点として各職員がやりがいを持ち、成長できる職場作り及び対人援助技術の向上を目指した研修による、信頼ある施設づくりを目指す。

【本部】

1 理事会

開催日	議題
5月23日	平成31年度事業報告と決算
9月26日	9月度報告
翌3月6日	令和3年度事業計画と予算

2 評議員会

開催日	議題
6月13日	平成31年度事業報告と決算
翌3月27日	令和3年度事業計画と予算

3 監事監査 5月15日（金曜日・PM～）予定

4 中期長期計画の骨子

(1) 経過から考察

ア 平成23年～平成27年の5年計画

「グループホームとB型事業所開設を目指す」

- ・平成27年6月共同生活援助開設

イ 平成28年～平成32年の5年計画

「B型事業所就労移行を視野に入れながら第2の生活介護事業所の開設を目指す。」

- ・平成29年6月第2ホーム開設
- ・平成31年3月販売部門を充実すべく大根店買取、第2てふてふ開設（B型の役割を持つ）。

(2) 令和3年～7年中期計画

「第2てふてふの充実及び天白区にグループホーム開設」

(3) 令和7年～17年の長期計画

「名東区の賃貸物件の有効活用」

5 その他

① 各事業間の交流の場作りとして、一緒にできる行事

8月・・・ふれあい一泊の旅（生活介護主催）

11月・・・てふてふ感謝祭（生活介護主催）

1月・・・新年会・成人を祝う会、ボランティアさんに感謝する会（本部主催）

【生活介護事業】

1 重点事項

- (1) 利用者の多様化に伴い、活動内容の見直し・計画・試行の年度とし、令和3年度開始を目指す。
 - ①必要な利用者に、余暇活動(レクリエーション活動・創作活動等)を導入していく。
 - ②てふてふ第二を活用していく。
 - ③活動内容を考慮した工賃規程を作る。
- (2) 支援量の必要な利用者の増加に伴い、職員個々のスキルアップを図る。
- (3) 養護学校からの実習を受け入れ、利用に繋げていき、徐々に利用者の増加を図る。
- (4) 来年度末までに、同一賃金同一労働等の働き方改革に対応した施設内の役割の確立を図り、法人に報告を上げ、全職員に周知を図る。

2 開所状況

- (1) 開所日…原則月曜日～金曜日(祝日・夏期休業日・年末年始休業日を除く)
※行事の日として開所…イベントには積極的に参加できるよう土曜日もしくは日曜日に希望者に対して開所していく。
- (2) 開所時間…9:00～16:00

3 利用者受け入れ状況 定員…40名(契約者…32名)

4 日課

8:45-9:00	9:00-9:30	9:30-10:35	10:35-12:00	12:00-13:00	13:00-14:10	14:10-15:30	15:30-16:00	16:00-17:15			
休憩	作業	昼食	休憩	作業・療育活動	休憩	創作活動	片付け	ミーティング	メンバー退勤	記録付け	スタッフ退勤

- ※作業…下請けを中心とした内容(輸入雑貨検品・ガス給湯器バネセット作業等)
縫製・藍染め・手織り・切り絵・クッキー作りを中心とした内容
- ※創作活動…芸術クラブ・書き方クラブ・調理クラブ等

5 行事予定

(別紙参照)

6 工賃

- ・工賃規程を見直し、効率よく分配できるようにしていく。
- ・販促商品を考案していき、販売単価の向上を図っていく。

・下請け作業の新規取引先を模索していく。

7 職員体制

主任2名を中心とした連携を強化し、目的意識と遂行能力のスキルアップを図る。

- (1) 管理者 : 1名 (常勤・サービス管理責任者兼務)
- (2) 主任生活支援員 : 2名 (常勤)
- (3) 生活支援員 : 5名 (常勤2名 非常勤3名 (利用者:支援員=5:1))
- (4) 看護師 : 1名 (非常勤)
- (5) 事務職員 : 1名 (常勤1名は相談支援の事務職員を兼ねる)

※医師・・・嘱託医として桃山診療所(内科)医師

8 職員研修予定

- (1) スタッフ会議 (月/1回)
- (2) ケース会議 (月/1回)
- (3) 施設内研修 (年/4回)
- (4) 名障連主催による研修
- (5) 県社会福祉協議会主催による研修
- (6) 県福祉協会主催による研修等

9 実習生 (養護学校高等部) 受け入れ予定

- (1) 6月・11月 (養護学校校外実習期間)
- (2) 7月～8月 (夏休み)、12月 (冬休み)、3月 (春休み)

10 ボランティア受け入れ予定

- (1) 常時
- (2) てふてふ感謝祭 (11月)

11 地域交流実施予定

感謝祭、徳林寺花祭り、天白区区民祭り(福社区民のつどい)、しだれ梅まつり

12 生産活動

- (1) 自主製品作り (ギフトボックス等の販促商品の開発を行う。)
 - ・藍染め製品・縫製製品 (刺繍雑巾を含めて)・手織り製品・クッキー作り
 - ・その他 (編み物製品・クラフト製品)
- (2) 下請 (効率アップ)
 - ・輸入雑貨検品・段ボール緩衝材作成・ガス給湯器バネセット・トイレ設置部品袋詰め等

(3) 販売

- ・天白区役所（毎週水曜日 10 時～12 時）
- ・てふてふ第二の販売（毎週木曜日 10～12 時）

※委託販売先の開拓をしていく。

【公用車の確保】

- 1 財団寄贈車両に応募する。

【共同生活援助】

1 目標…2つの居住場所を一括した支援体制を整え、快適な生活を目指していく。

- ① 勤務職員の配置を固定しないで流動的にどちらも勤務できる体制作り。
- ② 祝日土日にホーム利用者と外出を行う。誕生日会食を行う。
- ③ 利用者宛てへの書類の支援、通院等の引率を行う。

2 事業所の名称及び所在地

『グループホームパピヨン藤が丘』名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1

『グループホームパピヨン豊が丘』名古屋市名東区豊が丘 2708 番地

3 開所状況…365 日

4 職員の職種、員数

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| (1) 管理者 | 1 名 (常勤：サービス管理責任者兼務) |
| (2) サービス管理責任者 | 1 名 (常勤：管理者兼務) |
| (3) 世話人 | 13 名 (常勤：生活支援員兼務 3 名、非常勤：10 名) |
| (4) 生活支援員 | 3 名 (常勤：世話人兼務 3 名) |

5 利用者受け入れ状況 …16 床

6 実費 (一人当たり月額試算)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| (1) 食材料費 | 月額 20,000 円 |
| (2) 家賃 | 月額 27,000 円 (修繕積立 2,000 円を含む) ※豊が丘家賃月額 35,000 円
(内修繕積立 2,000 円) |
| (3) 光熱水費 | 月額 10,000 円 |
| (4) 日用品費 | 月額 4,000 円 |
| (5) 金銭管理 (年金管理 3,000 円 通帳管理 2,000 円) | |
| (6) その他日常生活においても通常必要となるもの | |

7 夜間体制

緊急夜間体制・・・管理者及びサービス管理責任者を窓口とする。

夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。

8 職員研修予定

- (1) スタッフ会議 (月/1 回)
- (2) ケース会議 (月/2 回)
- (3) 名障連主催による研修
- (4) 県社会福祉協議会主催による研修
- (5) 県福祉協会主催による研修等

9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【短期入所】

- 1 目標…稼働率アップを目指していく。
 - ① 短期入所利用申し込み者の面談を行い、新規利用者もどんどん受け入れていく。
 - ② 担当職員を配置する。
- 2 事業所の名称及び所在地
てふてふショートホーム：名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1 『ショートスティパピオン藤が丘』
- 3 開所状況…365 日
- 4 職員の職種、員数
 - (1) 管理者 1 名（常勤：共同生活援助の管理者兼務）
 - (2) 世話人 13 名（常勤 3 名、非常勤職員 10 名：調理員兼務）
 - (3) 調理委員 13 名（常勤 3 名、非常勤 10 名：世話人兼務）
- 5 利用者受け入れ状況 …1 床
- 6 実費（一日当たり試算）
 - (1) 水光熱費・・・500 円（1 泊）
 - (2) 食事・・・・朝 300 円・昼食 400 円・夕食 600 円※例 夕食一泊一朝食→1,400 円
- 7 夜間体制
緊急夜間体制・・・管理者を窓口とする。
夜勤・宿直体制・・・必要時に行う。
- 8 職員研修予定
 - (1) スタッフ会議（月/1 回）
 - (2) ケース会議（月/2 回）
 - (3) 名障連主催による研修
 - (4) 県社会福祉協議会主催による研修
 - (5) 県福祉協会主催による研修等
- 9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

【相談支援】

1 目標

職員間の情報の共有を図り、相談支援のステップアップに努める。

2 開所状況

(1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く）

(2) 開所時間・・・9：00～16：00

※管理者と相談支援専門員が不在時の連絡は、併設の事業所からの連絡が行われる体制をとる。

上記の営業日、営業時間のほか、電話等により緊急時の連絡が可能な体制をとる。

3 職員の職種、員数

(1) 管理者 1名（常勤：相談員兼務）

(2) 相談支援専門員 1名（常勤）

(3) 事務員 1名（常勤：生活介護の事務員兼務）

4 主たる対象の障害の種類は、特定しないものとする。

5 通常の事業の実施地域は、名古屋市全域の区域とする。

6 相談支援の内容

(1) 基本相談支援

(2) 障害者及び障害児の支援事業者等の情報提供

(3) 訪問によるアセスメント

(4) サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成及び変更

(5) サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取

(6) 訪問によるモニタリング

(7) 地域定着相談支援

(8) 地域移行相談支援

7 職員研修予定

(1) 天白区自立支援協議会による研修

(2) 名障連主催による研修

(3) 県社会福祉協議会主催による研修

(4) 県福祉協会主催による研修等

8 利用件数…昨年度を踏まえ、2名体制より100件ほどと考える。

令和2年度年間予定

月	法人本部	てふてふ(生活介護)	てふてふホーム
4		徳林寺花祭り：1日～7日 個別面談	定時家族会
5		障害者スポーツ大会：10日 フットベース交流会 避難訓練(水被害想定)	スポーツ大会 個別面談
6	決算理事会 定時評議員会	健康診断 業者清掃	
7	機関紙発送		一泊の旅Ⅰ
8		夏季休業：13日～15日 避難訓練(火災想定)	一泊の旅Ⅱ
9	理事会	支援計画モニタリング 一泊バス旅行	定時家族会
10	機関紙発送	個別面談 天白区区民祭り：25日	個別面談
11	感謝祭	感謝祭：7日 業者清掃 福祉と映画のつどい14日	感謝祭
12		仕事納め忘年会：19日 年末年始休業：29日～3日	クリスマス会&忘年会
1	新年会	初詣：4日 新年会：16日	新年会
2	機関紙発送	避難訓練(地震想定)	定時家族会
3	予算理事会 予算評議員会	支援計画モニタリング 個別面談 梅まつり	春の行事
月毎/ 週毎		月1回以上 主任会議 第1水曜 スタッフ会議 第2木曜 家族会会議 第3土曜 行事の日・ケース会議	

		第4金曜 メンバー・スタッフ会議 随 時 外部研修	
--	--	------------------------------	--